

活 動 記 録

日 時：12月24日（月・休日）10.00～12.00

場 所：比叡平二丁目最上宅周辺

参加者：10名（うち小学生2名）

経 過：

二丁目バス通りに面した最上宅には巨大なコナラの木がある。枝ぶりもよく見た目にも素晴らしかった。夏は葉が生い茂り、いろんな小鳥が寄って来た。近所に住む住民にとっては心の支えにもなっていたのだ。ところが古木だけにナラ枯れにはひとたまりもなく、見事に枯れてしまった。これは切り倒すしかない。本来は山林の所有者である商事会社が伐採すべきものである。ところが人手がなくて出来ないという。だから里山倶楽部で請け負ったというわけだ。今年一番という寒い休日だったが、会員が集まった。



会員ではないが、少々チェーンソーの心得のあるMさんが休日を利用してやって来た。なにしろ住宅に近いので谷の方へ倒れるように切らなければならない。切るまでの準備がたいへんだった。急傾斜地である。周辺の灌木を切り取って足場を作る。「将を射んと欲すればまず馬を射よ」のことわざ通り、まず周辺のコナラを2本切る。それからやっと本番だ。ワイヤーロープを引っ張る。住宅の方へ行かないように落とし所をきわめる。メキメキと音響を立てて倒れる時には、思わず拍手が起った。これは大変スリルのある活劇である。



なんとといっても直径1メートルもあろうかという大木である。四方に張った枝を少しずつ切らなければならない。そこはMさんの技術力で、ほぼ狙った通り谷間めがけて倒れて行った。開始から2時間ほどかかって、さしもの大木が姿を消した。また暖かくなったら、倒れた木を小切りにしてキノコのホダギやストーブの薪を収穫する予定である。



以上